



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
 - 2.4. 用語解説
- 3. セットアップの流れ
- 4. テナント環境セットアップ
- 5. IM-Mail for Accel Platform の設定ファイル
 - 5.1. 設定ファイルの編集
 - 5.1.1. 設定ファイルの種類
 - 5.1.2. 設定ファイルの編集に関する注意点
 - 5.1.3. その他の注意点
 - 5.2. 機能と設定
 - 5.2.1. 接続設定
 - 5.2.2. 検索設定
 - 5.2.3. ポートレット設定
- 6. アンインストール
- 7. IM-Mail for Accel Platform 移行ガイド
 - 7.1. はじめに
 - 7.1.1. IM-Mail for Accel Platform へ移行するもの
 - 7.1.2. ログイングループからテナントへ
 - 7.1.3. 移行対象機能
 - 7.1.4. ライセンスについて
 - 7.2. 前提条件
 - 7.3. 制限事項
 - 7.4. 移行
 - 7.4.1. 事前作業
 - 7.4.2. 移行手順
- 8. 付録
 - 8.1. IM共通マスタのユーザインポートによって、IM-Mailアカウントを持つユーザの情報を変更する場合

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-04-01	初版
2013-07-01	第2版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「自動同期無効化設定」を追加▪ 「検索設定」を追加▪ 「ポートレット設定」を追加▪ 「IM-Mail for Accel Platform 移行ガイド」を追加
2014-04-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">▪ 目次構成を改善しました（intra-mart Accel Platformと重複する内容を削除しました）。▪ 「IM-Mail for Accel Platform 移行ガイド」を変更

はじめに

本書の目的

本書では IM-Mail for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

詳細は「[リリースノート](#)」 - 「[システム要件](#)」を参照してください。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- IM-Mail for Accel Platform のセットアップを行われる方

用語解説

Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。

Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。

PublicStorage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。

Web サーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。

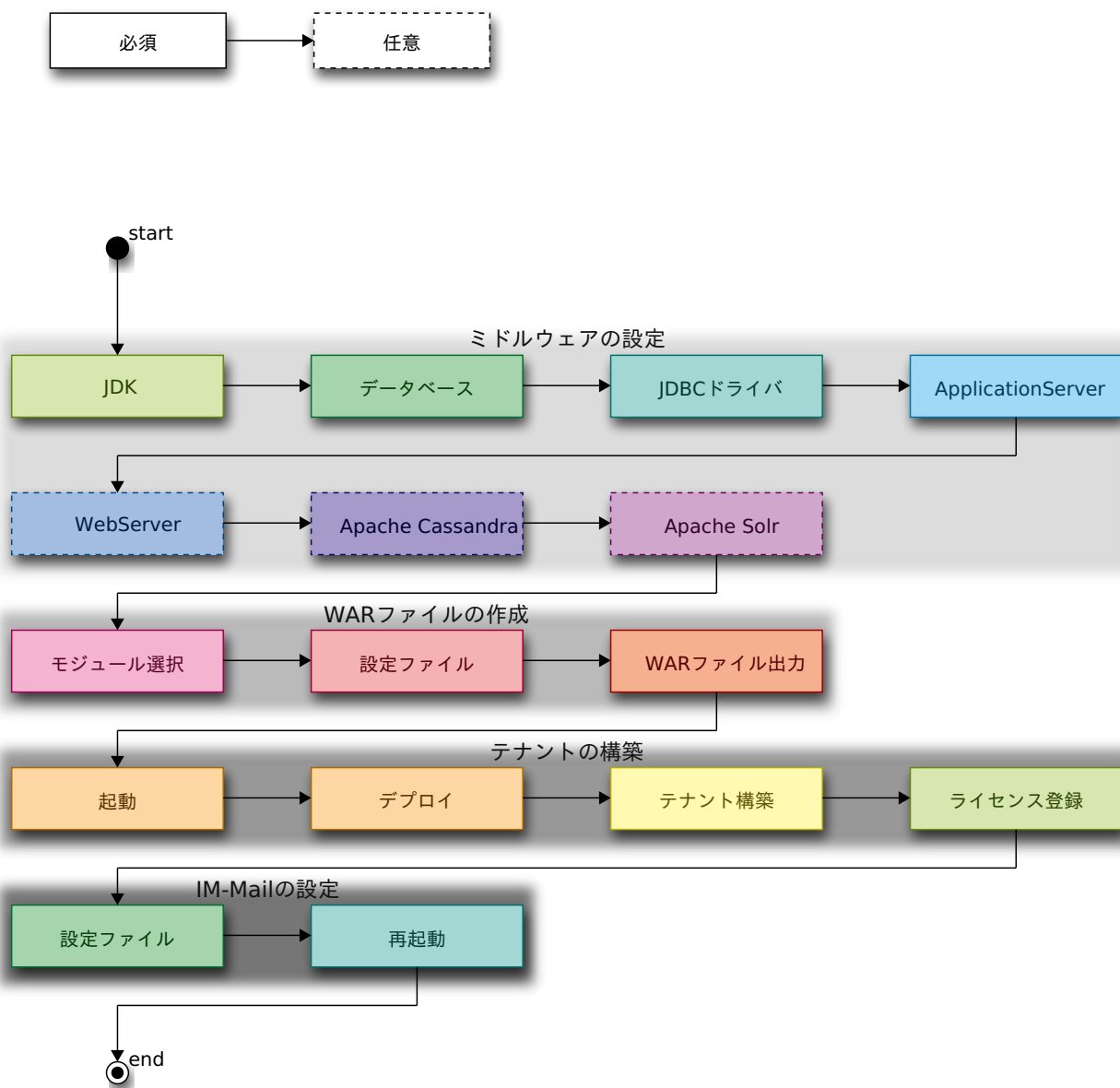
セットアップの流れ

セットアップの手順は次のフローチャートの通りです。
各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

- 凡例

必須・・・セットアップが必要な項目です。

任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra

Name	Description
Apache Solr	Apache Solr
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択
設定ファイル	基盤の設定ファイル
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
設定ファイル	IM-Mail for Accel Platform の設定ファイル
再起動	Web Application Server の起動・停止
end	

テナント環境セットアップ

- テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

IM-Mail for Accel Platform の設定ファイル

設定ファイルの編集

設定ファイルの種類

IM-Mail for Accel Platform で利用する設定ファイルを以下に示します。

設定名	概要	ファイル名
接続設定	IM-Mail（メールサービス部分）接続に関する設定です。	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail/conf/im-mail-config.xml
検索設定	IM-Mail アカウント検索に関する設定です。	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail/conf/im-mail-search-config.xml
ポートレット設定	IM-Mail ポートレットに関する設定です。	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail_portlet/conf/im-mail-portlet-config.xml

コラム

設定ファイルは、テナント環境セットアップを行うことによってパブリックストレージ内に配置されます。これらのファイルを編集することで各設定を行うことができます。

設定ファイルの編集に関する注意点

設定ファイルを編集した場合、その変更内容をサーバの動作に反映させるには、該当するサーバの再起動が必要です。

既にサービスの運用を開始している環境に対して設定ファイルを編集する場合は、メンテナンス時間を設けて全てのサーバを停止した後に作業を行うようにしてください。

運用中のサーバに対して設定ファイルを編集することや、ネットワーク連携しているサーバのうち1つまたはすべてではない複数のサーバに関してのみ（他のサーバは運用を継続）設定を変更した場合、予期せぬエラーの原因となることがあります。

その他の注意点

- ログ設定について
 インストール直後は IM-Mail（メールサービス部分）との連携確認用にログ出力レベルが「デバッグ」となっています。連携確認を行った後はログ出力レベルを変更するか、疎通試験ログ用の記述を削除してください。（conf/log/ im_logger_im_mail.xml の 59～64 行目付近に疎通試験ログ用の記述があります）

機能と設定

接続設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 自動同期無効化設定
 - ドメイン設定
 - プロビジョニング連携 API 用共通鍵
 - PreAuth 共通 URL
 - PreAuth 共通鍵
 - 未読ポートレット IMAP サーバ・IP アドレス/ホスト名
 - 未読ポートレット IMAP サーバ・ポート番号
 - 未読ポートレット IMAP サーバ・SSL 設定

概要

im-mail-config.xml では、以下の機能についての IM-Mail（メールサービス部分）との接続設定を行います。

設定する値については、IM-Mail（メールサービス部分）の開通情報を参照して下さい。

1. アカウント連携
2. IM-Mail（メールサービス部分）とのシングルサインオン
3. 未読ポートレット

フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/im-mail-config.xsd
設定場所	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail/conf/im-mail-config.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<im-mail-config xmlns="http://intra-mart.co.jp/product/im-mail/config/im-mail-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" >
  <domains>
    <auto-sync-disabled>true</auto-sync-disabled>
    <domain name="sample.intra-mart.jp">
      <attestation-key>123456789abcdefghiABCDEFghi</attestation-key>
      <preauth-url>https://xxxxxxxxx/service/preauth</preauth-url>
      <preauth-key>123456789123456789abcdefghiABCDEFGHIABCDEFghi</preauth-key>
      <imap-host>xxxxx.xxx</imap-host>
      <imap-port>993</imap-port>
      <imap-ssl>true</imap-ssl>
    </domain>
  </domains>
</im-mail-config>
```

リファレンス

自動同期無効化設定

タグ名 auto-sync-disabled

アカウント連携による自動同期を無効にします。
この設定によって、ユーザ情報を更新した時の伝搬、リスナによる同期処理を抑制することができます。



注意

この設定の目的は、ユーザ情報を更新する時のパフォーマンス劣化を防ぐことです。
そのため、IM-Mail 個人設定画面や、ジョブによる同期処理には影響しません。



注意

この設定は、全てのドメインに適用されます。

【設定項目】

```
<domains>
  . . . . .
  <auto-sync-disabled>true</auto-sync-disabled>
  . . . . .
</domains>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	自動同期を無効にする場合は true、有効にする場合は false を設定します。
単位・型	真偽値 (true/false)

省略時のデフォルト値	false
親タグ	domains

ドメイン設定

タグ名 domain

IM-Mail 用のドメインを設定します。

【設定項目】

```
<domains>
. . . . .
<domain name="sample.intra-mart.jp">
. . . . .
</domain>
</domains>
```

必須項目	<input type="radio"/>
複数設定	<input type="radio"/>
設定値・設定する内容	ドメインを設定します。
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domains

【属性】

属性名	説明	必須	デフォルト値
name	ドメイン名を設定します。	<input type="radio"/>	なし

プロビジョニング連携 API 用共通鍵

タグ名 attestation-key

プロビジョニング連携 API が同期処理で使用する共通鍵を設定します。

設定値は、メールサービスコントロールパネルの「ドメイン管理」 - 「検索」 - 「ドメイン情報」 - 「アカウント連携サービス情報」より確認することができます。



【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <attestation-key>123456789abcdefghiABCDEFGHI</attestation-key>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	プロビジョニング連携 API 用共通鍵を設定します。
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

PreAuth 共通 URL

タグ名 preauth-url

シングルサインオンで使用する PreAuth 共通 URL を設定します。

【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <preauth-url>https://xxxxxxxxxx/service/preauth</preauth-url>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	PreAuth 共通 URL を設定します。「 https://xxxxxxxxxx/ 」の部分は、IM-Mail（メールサービス部分） 開通情報の「WEBメールアクセス用URL」が相当します。
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

PreAuth 共通鍵

タグ名 preauth-key

シングルサインオンで使用する PreAuth 共通鍵を設定します。

設定値は、メールサービスコントロールパネルの「ドメイン管理」 - 「検索」 - 「ドメイン情報」 - 「シングルサインオン連携サービス情報」より確認することができます。

【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <preauth-key>123456789123456789abcdefgABCDEFGHIABCDEFGHI</preauth-key>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	PreAuth 共通鍵を設定します。
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

未読ポートレット IMAP サーバ・IP アドレス/ホスト名

タグ名 imap-host

未読ポートレットで参照する IMAP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。

【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <imap-host>XXXXX.XXX</imap-host>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	IMAP サーバの IP アドレス/ホスト名を設定します。設定値は、IM-Mail（メールサービス部分） 開通情報のPOP3（S）、SMTP(S)用ホスト名になります。
単位・型	文字列
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

未読ポートレット IMAP サーバ・ポート番号

タグ名 `imap-port`

未読ポートレットで参照する IMAP サーバのポート番号を設定します。

【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <imap-port>993</imap-port>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	IMAP サーバのポート番号を設定します。通常は「993」です。
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

未読ポートレット IMAP サーバ・SSL 設定

タグ名 `imap-ssl`

未読ポートレットで参照する IMAP サーバに SSL 接続するかどうかを設定します。

【設定項目】

```
<domain name="sample.intra-mart.jp">
  . . . . .
  <imap-ssl>true</imap-ssl>
  . . . . .
</domain>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	IMAP サーバに SSL で接続するかどうかを設定します。
単位・型	真偽値 (true/false)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	domain

検索設定

- 項目
 - [概要](#)
 - [リファレンス](#)
 - [検索結果の1ページ表示件数](#)

概要

im-mail-search-config.xml では、アカウント検索の設定を行います。

フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/im-mail-search-config.xsd
設定場所	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail/conf/im-mail-search-config.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<im-mail-search-config
  xmlns="http://intra-mart.co.jp/product/im-mail/config/im-mail-search-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://intra-mart.co.jp/product/im-mail/config/im-mail-search-config ../schema/im-mail-search-config.xsd ">
  <account-number-of-line>30</account-number-of-line>
</im-mail-search-config>
```

リファレンス

検索結果の1ページ表示件数

タグ名	account-number-of-line
-----	------------------------

アカウント検索画面の検索結果の1ページ表示件数を設定します。

【設定項目】

```
<im-mail-search-config>
  <account-number-of-line>30</account-number-of-line>
  . . . . .
</im-mail-search-config>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	アカウント検索画面の検索結果の1ページ表示件数を設定します。
単位・型	数値 (1 -)
省略時のデフォルト値	30
親タグ	im-mail-search-config

ポートレット設定

- 項目
 - 概要
 - リファレンス
 - 未読ポートレットの未読メール表示件数
 - 未読ポートレットの表示タイトル最大長
 - IMAP コネクションタイムアウト値
 - IMAP 送受信タイムアウト値

概要

im-mail-portlet-config.xml では、以下の機能について表示や接続に関する設定を行います。

1. 未読ポートレット

フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/im-mail-portlet-config.xsd
設定場所	%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_mail_portlet/conf/im-mail-portlet-config.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<im-mail-portlet-config
  xmlns="http://intra-mart.co.jp/product/im-mail/config/im-mail-portlet-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://intra-mart.co.jp/product/im-mail/config/im-mail-portlet-config ../schema/im-mail-portlet-config.xsd ">
  <number-of-line>5</number-of-line>
  <subject-max-length>20</subject-max-length>
  <connection-timeout>30000</connection-timeout>
  <timeout>30000</timeout>
</im-mail-portlet-config>
```

リファレンス

未読ポートレットの未読メール表示件数

タグ名 number-of-line

未読ポートレットで表示する未読メールの件数を設定します。

【設定項目】

```
<im-mail-portlet-config>
  <number-of-line>5</number-of-line>
  . . . . .
</im-mail-portlet-config>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	未読メール表示件数を設定します。
単位・型	数値 (1 -)
省略時のデフォルト値	5
親タグ	im-mail-portlet-config

未読ポートレットの表示タイトル最大長

タグ名 subject-max-length

未読ポートレットで表示する未読メールのタイトル最大長を設定します。

【設定項目】

```
<im-mail-portlet-config>
  . . . . .
  <subject-max-length>20</subject-max-length>
  . . . . .
</im-mail-portlet-config>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	未読メールの表示タイトル最大長
単位・型	数値 (1 -)
省略時のデフォルト値	20
親タグ	im-mail-portlet-config

IMAP コネクションタイムアウト値

タグ名 connection-timeout

IMAP サーバ接続時のタイムアウト値（ミリ秒）を設定します。

【設定項目】

```
<im-mail-portlet-config>
. . . . .
<connection-timeout>30000</connection-timeout>
. . . . .
</im-mail-portlet-config>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	IMAP サーバ接続時のタイムアウト値（ミリ秒）を設定します。
単位・型	ミリ秒 (1 -)
省略時のデフォルト値	30000
親タグ	im-mail-portlet-config

IMAP 送受信タイムアウト値

タグ名 timeout

IMAP サーバとの送受信におけるタイムアウト値（ミリ秒）を設定します。

【設定項目】

```
<im-mail-portlet-config>
. . . . .
<timeout>30000</timeout>
. . . . .
</im-mail-portlet-config>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	IMAP サーバとの送受信におけるタイムアウト値（ミリ秒）を設定します。
単位・型	ミリ秒 (1 -)
省略時のデフォルト値	30000

アンインストール

- アンインストールについては、「[アンインストール](#)」を参照してください。

IM-Mail for Accel Platform 移行ガイド

はじめに

本書では IM-Mail Ver.7.1.1 から IM-Mail for Accel Platform への移行手順について説明します。

注意

IM-Mail for Accel Platform の移行は、intra-mart WebPlatform version 7.2 から intra-mart Accel Platform へ下記機能が移行されていることを前提としています。

これらの移行については「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」を参照してください。

- アクセスセキュリティ
- IM-共通マスタ

コラム

intra-mart Accel Platform の移行と、IM-Mail for Accel Platform の移行を別々の時期に実施する場合、次のことに留意してください。

IM-Mail を移行する前に intra-mart Accel Platform のアカウント状態が変わると（例えば、アカウントを削除した場合）、intra-mart Accel Platform と IM-Mail（メールサービス部分）でデータの不整合が発生します。

そのため、IM-Mail の移行後は、必ず個人設定一括反映ジョブを実行してください。

個人設定一括反映ジョブの詳細は、「[IM-Mail for Accel Platform 仕様書](#)」を参照してください。

IM-Mail for Accel Platform へ移行するもの

移行の対象は以下の通りです。

- データベース
テーブル定義変更や標準データの登録は、移行モジュールで行われます。
- ストレージ
Storage Service のファイルは、移行手順で示す場所に、手作業で移動してください。
- 各種設定ファイル
移行手順で示す方法により、手作業で設定してください。

ログイングループからテナントへ

詳細は「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」の「はじめに」-「ログイングループからテナントへ」の項を参照してください。

移行対象機能

移行対象機能は以下の通りです。

- IM-Mail

注意

未読ポートレットについては、制限事項、移行手順の「[テナント初期設定後の各種メンテナンス](#)」の項を参照してください。

ライセンスについて

IM-Mail for Accel Platform のライセンスを用意してください。

前提条件

詳細は「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」の「前提条件」の項を参照してください。

制限事項

移行にあたっての制限事項は「IM-Mail for Accel Platform リリースノート」の「[制限事項](#)」に記載されています。
バージョンアップ時には、必ず全ての制限事項を確認してください。

移行

項目

- 事前作業
- 移行手順
 - IM-Juggling による war の作成
 - システム管理者によるテナント初期設定
 - テナント初期設定後の各種メンテナンス
 - intra-mart Accel Platform への Storage の移行

事前作業

詳細は「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」の「[移行](#)」-「[事前作業](#)」の項を参照してください。

移行手順

IM-Mail for Accel Platform の移行手順は、intra-mart Accel Platform の移行手順に従います。
詳細は「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」の「[移行](#)」-「[移行手順](#)」の項を参照してください。

ここでは、「[intra-mart Accel Platform 移行ガイド](#)」の移行手順に加えて、IM-Mail for Accel Platform で必要となる手順を説明します。

IM-Juggling による war の作成

- Juggling プロジェクトを作成する際、「**IM-Mail 移行モジュール**」を選択してください。

システム管理者によるテナント初期設定

- テナント環境セットアップ後、システム管理メニューより、ライセンス管理画面を開き、IM-Mail for Accel Platform のライセンス登録を行います。

テナント初期設定後の各種メンテナンス

1. パブリックストレージ上に配置された設定ファイルを編集します。
各種設定については「[IM-Mail for Accel Platform の設定ファイル](#)」に従い、改めて設定を行ってください。
2. IM-Mail を利用するユーザに IM-Mail for Accel Platform のライセンスを登録します。
3. ポータル 移行モジュールによってコピーされた IM-Mail Ver.7.1.1 のデータを削除します。

- 管理者

「ポータル管理」の「ポートレット一覧」から、アプリケーション名が「**IM-MAIL**」のポートレットを削除します。



注意

アプリケーション名が「**IM-Mail ポートレット**」のポートレットは削除しないでください。
これは IM-Mail for Accel Platform の未読ポートレットです。

- ユーザ

必要に応じて、自身のポータルページに未読ポートレットを追加します。

intra-mart Accel Platform への Storage の移行

- グループ名一覧ファイルをコピーします。

```
[%STORAGE_72%]/im_mail/[%LOGIN_GROUP_ID%]/groupname ⇒ [%PUBLIC_STORAGE_PATH%]/products/im_mail/groupname
```

付録

IM共通マスタのユーザインポートによって、IM-Mailアカウントを持つユーザの情報を変更する場合

- IM-Mailアカウントを持つユーザに対してはIM-Mail（メールサービス部分）との同期処理が行われるため、インポート処理時間は下記の計算結果が目安となります。

(1ユーザあたりの同期処理時間（約60秒）) × (IM-Mailアカウントを持つユーザ数)

したがって、対象のユーザ数が大量の場合、処理に長時間かかることが予想されます。その際は以下の設定を上記の算出時間より長い時間に変更した上で実行してください。

設定ファイル	WEB-INF/resin-web.xml
タグ名	max-active-time
説明	接続の連続使用可能時間 (h)

```
<database jndi-name="jdbc/default">
  . . . . .
  <max-active-time>48h</max-active-time>
</database>
```



注意

max-active-timeが指定されていない場合、デフォルト値（6h）が適用されます。処理時間が6時間を超えるとインポートジョブがエラー終了します。